



# 渋川



3月

渋川学区のシンボルマークとマスコットキャラクター“しぶはなちゃん”

編集発行 渋川学区まちづくり協議会  
(事務局：草津市立渋川まちづくりセンター内)  
☎525-0025 草津市西渋川二丁目9番38号  
☎077-569-0350 FAX 077-566-5143  
メールアドレス shibukawa@machikyou.jp  
ウェブサイト http://www.machikyou.jp/shibukawa/



渋川学区(2023年1月31日現在)  
人口 9,575人  
男性 4,766人 女性 4,809人  
世帯数 4,510世帯

まちづくり協議会より 渋川学区の将来像 ～笑顔・ふれあい・思いやりのまち・渋川～

## 親子でお金の使い方を学ぶ

昨年12月17日(土)、第2回すこやかセミナーを開催しました。講師に、ファイナンシャルプランナー「キャサリンとナンシー」として活躍中のキャサリンこと竹内かおりさんをお招きし「親子で学ぶ！お金のはなし～キャサリンとナンシー流、4つのお金の使い方～」と題して、おもしろく、そして分かりやすくお話していただきました。物々交換から始まったお金の歴史からお金とは何かをみんなで話合ったり、貯める・使う・あげる・増やすという4つの使い方について子どもたちから意見を聞いたりしました。保護者からは「子どもが活発に質問していて楽しそうだった」「あげるの考えが寄付する心にもつながると分かった」などの声がありました。加速するキャッシュレス社会の中、子どもとお金について考える良い機会となりました。《子ども育成部会》



## 箏や尺八の生演奏とかるた取り



1月16日(月)に、健康福祉部会の主催で「新春お楽しみ会」を開催しました。お正月にふさわしい曲をお箏や三味線、尺八で演奏していただきました。また、これらの和楽器について解説していただいたとき、希望した人には講師の指導のもと簡単な曲を弾かせてくださる場面もありました。美しい音色の演奏を聞いた後は、みんなで「脳トレ大判かるた」にチャレンジしました。高齢者にも分かりやすい大きなサイズのかるたで、取り札には昔懐かしい絵が描かれているため、参加者同士で大変盛り上がりしました。最後は職員による出し物で、皆さん大笑いして終わりました。参加者アンケートには、「お箏や尺八の生演奏を聴くことができ良かった」「笑う門には福来る！久しぶりに大笑いした」という感想が寄せられました。笑うことは健康にも良いそうです。皆さんにとって笑顔あふれる一年となりますよう祈っています。《健康福祉部会》



## 常盤東総合センターにて「人権現地研修」を開催

1月21日(土)に、人権現地研修を18人の参加で実施しました。今年度は常盤東総合センターに伺い、～部落差別をなくすために～と題して山本一郎センター長からお話をお聞きし、部落差別の始まりから差別の現状や地域の現状について学びました。

また、学習の合間にはセンター内の見学をさせていただき、常盤東総合センターの地域での役割についても学ぶことができました。誰もが住みやすいまちづくりを進めていくために、部落差別問題をはじめとするさまざまな差別問題について考える良い機会となりました。《教育文化スポーツ部会》





## ～令和4年度をふりかえって

### コロナ禍を経て、地域の皆さんとの「ふれあい」を前進！



地域安全コミュニティ部会では、住環境美化への取り組み(地域の見守り、河川や散在性ごみ一斉清掃、花いっぱい運動、清掃ボランティア)と「ふれあいまつり」を担当しています。3年ぶりの「ふれあいまつり」は新しい企画で取り組み、地域の皆さまに喜んでいただくことができました。地域の力は、人と人とのつながりの力だと思います。渋川学区がさらに魅力的なまちになるように一緒に考え一緒に行動できる部会でありたいと思います。

地域の皆さまのご協力には感謝しかありません。今年度も学区のために様々な活動に参加していただいた全ての皆さまに厚く御礼申し上げます。

《地域安全コミュニティ部会 部会長 平岡典子》



### 年齢を重ねても健康で楽しく暮らせる渋川学区をめざして



渋川学区の皆さん、日ごろは**健康福祉部会**活動にご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年の夏も新型コロナウイルス感染症の猛威が続いていたため、敬老会につきましては対象の皆様の健康を考え全ての町内会でお祝いの品のお届けに代えられました。

その他の健康福祉部会事業につきましては、感染対策を行った上で計画どおり開催することができました。「認知症予防体操」に始まり、秋には「秋のミニコンサート」と「はじめての絵てがみ」、12月には「ノルディック・ウォーク」、年明けの「新春お楽しみ会」まで高齢者等の健康増進と福祉の向上に向けて取り組んで参りました。

また、今年度は特別予算として市に地域課題解決応援交付金を申請し、渋川学区の高齢者がそれぞれに合った方法で健康的に楽しんでいただけるよう、例年の事業に加えて取り組んできました。まず、町内会館等を使って活動をされている老人クラブ様や高齢者サロン様の活動を周知するため、ちらしを作成し配布しました。次に、福祉グッズの貸し出しをスタートしたところ、高齢者サロン様や学区民生委員児童委員様など延べ18団体から借用申請があり、町内会館など身近な場所で楽しみながら活用していただくことができました。最後に、8月に募集した「まちづくりサポーター」には、10人ものご登録があり各事業でご活躍いただきましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。来年度からは7人での活動となりますが、まちサポの皆さんとともに今後も多くの方のご参加をお待ちしております。この一年間、事業運営にあたり、お世話になりました方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

《健康福祉部会 部会長 糸井敏明》





## 各部会長より ご挨拶～



## コロナ禍でも子どもたちと楽しく事業を開催できました



子ども育成部会の事業は、地域の子どもと大人が楽しく交流しながら色々なことを体験し学ぶことをモットーに開催しています。

日ごろは、当部会の運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

今年度からは、『ふれあいコンサート』に代えて『プラネタリウムに行こう』という事業を開催したところ、定員をはるかに上回る申し込みがあり、子どもや保護者のもとより高齢者の参加もありました。星座盤の使い方を説明したことで、帰宅後も親子で夜空を見上げ星座について学ぶよい機会となりました。

また、例年開催している「じゃがいも収穫体験」や「花植えじゃがいも植え」、「すこやかセミナー」も、参加者同士が密にならないよう工夫して開催できました。

そして、新たに地域課題解決応援交付金事業として「わくわく！渋川親子ひろば」と「渋川小学校グッズリサイクル会」を開催しました。渋川学区の子育て世代の方がより楽しく、子育てに向き合うきっかけになればと取り組んできました。

来年度もまたみなさまと一緒に楽しい事業を開催していきたいと思っております。一年間どうもありがとうございました。今後も子ども育成部会をよろしく願いいたします。今年度一年間、ありがとうございました。

《子ども育成部会 部会長 大庭幸治》



## 人権教育、伝統文化の継承、スポーツ大会の開催に取り組む



### 教育文化スポーツ部会

では、教育関係は多面化する差別を無くすための人権学習を、また文化面では渋川花踊りを、そしてスポーツにおいては大運動会やソフトボール大会、ペタンク大会およびソフトバレーボール大会に取り組んでおります。



過去2年間コロナ禍のため中止を余儀なくされる事業もありましたが、今年度は行動制限が緩和傾向になる中、適切に感染防止対策を講じ規模の縮小もありましたが、すべての事業を実施することが出来ました。次年度も同様に人権教育や伝統文化の継承、スポーツを通しての地域住民の交流事業を推し進めていくとともに、新型コロナウイルス感染症が大流行する以前に完成しました「渋川の歌」「しぶはなちゃん音頭」を皆様にひろく親しんでいただけるよう取り組んで参りたいと存じます。

《教育文化スポーツ部会 部会長 西川泰功》





## 渋川やすらぎ学級第7回開催

1月11日(水)に、渋川やすらぎ学級第7回講座を開催しました。びわこ薬剤師会副会長の山本真司さんをお迎えし「日ごろのお薬とのつきあい方」と題してお話していただきました。はじめに、薬局を利用するにあたり自宅の近くでかかりつけの薬局を決め、服用する薬の効果や副作用などに関して気軽に相談することが望ましいとのことでした。また、普段から5種類以上の薬を服用している人は、副作用のリスクが1.5倍、転倒などの事故は2倍になる場合があると教わりました。複数の病院に通いそれぞれ内服薬を処方されると多剤服用になりがちです。自分自身のためにもお薬手帳を活用し、かかりつけ薬剤師に身体の症状や不安を伝えることで、副作用を考慮したアドバイスを受けることができるとのことでした。年齢とともに通院が増える傾向にある受講生の皆さんが、薬剤師に相談することの大切さを学ぶ良い機会となりました。



## 来年度 渋川やすらぎ学級 受講生を募集します

渋川まちづくりセンターでは、60歳以上の皆さんに学びの場を提供するとともに、受講生同士の交流を深めることを目的に毎年「渋川やすらぎ学級」を開催しています。来年度も、ニュースポーツの体験などさまざまな講座を予定しています。詳しくは、3月1日号の広報くさつと同時に配布する「渋川やすらぎ学級受講生募集」ちらしをご覧くださいの上、申込書に必要事項を記入し参加費を添えて渋川まちづくりセンターの窓口でお申し込みください。なお、各講座は、今後の感染状況等により内容を変更したり、やむを得ず中止したりする場合がありますので、何卒ご了承ください。

## 渋川まちづくりセンター利用者アンケートの結果報告

令和5年1月に、渋川まちづくりセンターの利用者を対象に「利用者アンケート」を実施しましたところ、236人から回答がありました。主な集計結果を報告いたします。アンケートで「満足」「やや満足」と回答した人の割合です。ご協力いただき、ありがとうございました。

◎センターの開館時間については62.29%、休館日については54.24%、貸室時間については67.37%でした。(なお、市内の地域まちづくりセンターは、開館時間や休館日等、草津市まちづくり条例施行規則に基づいて運営しています。)

◎駐車場の広さ等については53.81%でした。(複合施設ですのでご理解願います。)

(4) ◎職員の対応は、「満足」と「やや満足」を合わせて74.58%でした。



《当センターを利用の皆さんへ》  
毎年実施している利用者アンケートで、「駐車場がせまい」というご意見をいただきますが、市に確認しましたところ増設の予定はないとのことでした。当センターが入っている『渋川福複センター』は、草津市立障害者福祉センター等を含む複合施設ですので、自主教室等でご利用の方は自転車や徒歩でお越しいただきますようお願いいたします。

## 学区新イベントへの第一歩！

2月4日(土)に、まちづくり研修を開催しました。今年度は「渋川でできること」を一緒に考えよう！がテーマです。渋川のワクワクする未来を想像(創造)しようと32人の地域の皆さんが参加されました。講師に草津市コミュニティ事業団の皆さんをお招きし、他学区で市民が積極的に集まって楽しいイベントに取り組んでいる事例を紹介していただいた後、5つの班に分かれ渋川学区の好きなところやできそうなイベントについて話し合いました。最後にまとめた意見を発表しました。キャンプやアウトドアが得意な人が集まった班からは「防災かまどベンチを使ってBBQしては？」という提案や「ふれあいまつりをオープンにして企画しては？」といった意見が出ました。アンケートでは「様々な特技を持っている人と集まって、自分も楽しいイベントをしてみたい！」という声もありました。これから地域安全コミュニティ部会でワクワクする事業を企画する第一歩となりました。

### 《地域安全コミュニティ部会》



## 渋川小学校20周年記念事業



地域の皆様から多くの「お祝いメッセージ」をいただきありがとうございました。皆様のお力添えのおかげで20周年記念事業を無事終えることができました。各町内会長の皆様を通じて、記念のクリアファイルとリーフレットをお配りしました。ぜひご覧ください。

### 《渋川小学校》

